

## 各山域毎の現状と問題点 札幌近郊、山岳会

### 札幌市の自然歩道について

聞き取り先：札幌市環境局緑化推進部緑の保全課

#### 【Q】札幌市の自然歩道の管理者は？

札幌市の緑化推進部、緑の保全課です。土地所有者（森林管理署、道、個人など）から協定等を結んで整備を行い、市民の利用を図っています。

#### 【Q】自然歩道のトイレの管理者、管理体制は？

砥石山（自然歩道中ノ沢～小林峠・源八沢ルート 中ノ沢入口） 緑の保全課 週1回巡視・清掃  
定山溪ダム ダム資料館内トイレ 水洗 国設置・札幌市緑の保全課管理  
白旗山 真栄営林事業所 緑の保全課 水洗と簡易（年1回汲み取り）、清掃適宜  
札幌ふれあいの森 緑の保全課 水洗及び循環浄化システム、4～11月上旬まで定期的に清掃  
白旗山有明入口 緑の保全課 週1回清掃、年1回汲み取り  
白旗山山頂 緑の保全課 簡易、週1回清掃  
白川市民の森 緑の保全課 簡易、巡視中に適宜清掃、年1回汲み取り  
盤渓市民の森 緑の保全課 簡易、巡視中に適宜清掃、年1回汲み取り  
三角山（自然歩道三角山～盤渓ルート 山の手入口） 緑の保全課 水洗トイレ設置（今秋）  
藻岩山（自然歩道藻岩山ルート 慈啓会病院入口） 緑の保全課 水洗トイレ設置（今秋）、それまでは簡易トイレ 週1回清掃、年1～2回汲み取り

八剣山 石狩森林管理署（？）  
山麓駅 手稲山ロープウェイ  
山頂駅 手稲山ロープウェイ  
西岡水源地 豊平区土木センター  
手稲平和の滝駐車場のトイレ 西区土木センター

#### 【Q】市民団体から要望があった空沼岳登山口のトイレは？

以前より市議員を通して、市民団体より要請書が出されております。空沼岳登山道は国（森林管理署）の管理下にあります。利用者の大半が札幌市民であるということから、設置の検討をしました。その際、簡易トイレ（汲み取り式）を想定していました。他の登山口の状況から推察して、年1回の汲み取り、週1回の清掃が必要でしょう。

市の財政状況が厳しいことから、山岳関係団体に維持管理の協力がいただけることを前提として、設置の方向で回答しましたが、協議の結果、協力は困難との返答をいただき現在にいたっています。

また、実際に設置をするには土地所有者である森林管理署との協議が前提となります。

#### 【Q】自然歩道のトイレの管理において、問題や苦勞されていることは？

トイレが傾斜地にあたり、傾斜地を通過する必要があるため、汲取車が通れるかどうかの問題です。季節によって通れないこともあります。

また、藻岩山では、冬期に糞尿が凍り、便器から盛り上がり、あふれてくることがありました。そのため、凍っていて汲み取れず、使用禁止にしたことがあります。

### 山荘管理者の取り組み

聞き取り先：万計山荘友の会

#### 【Q】トイレ設置・管理状況

【A】万計山荘に隣接してトイレを設置。無雪期は毎週（土、日）に友の会会員が管理当番に入り清掃を行っている。臭いの少ない、きれいなトイレが自慢。

【Q】登山口および山中での紙・し尿の散乱状況

【A】空沼岳登山口の駐車場脇の笹藪にはひどいもので、対策は急務です。

トイレを清潔にして置かないと、山荘の外でやられます。冬も使用できるようにして置く事により、外でやられる事が無くなりました。

ティッシュと物が散乱しています。「マミス沼」の登山道よりキャンプ地（キャンプは禁止している）の周辺もトイレが散乱しています。登山口程ではありませんが。その他、登山道中は綺麗です。

【Q】現在実施しているトイレ問題の対策の内容と課題

【A】シーズン始めに（6月）EM菌の”ぼかし”（EM菌をおがくずに入れ発酵させたもの）、10kgを便層内に散布し、さらにEM菌原液を3倍に薄めたものを追加散布する。この時点でトイレの臭いが無くなる。

はえ対策：EM菌によりトイレ内に「ウジ」は発生しなくなる、ハエもわかなくなる。大きな黒バエは外から来て、トイレの窓でたむろするうちに死んでしまうので、窓を開け風通しを良くすることで、ハエは寄り付かなくなります。

昨年、便層を浸透式から、溜め式にした為、汲み取り料が発生する。市に対し、免除を申請しているが、今の所は認可ならず。

【Q】今後目指したい対策の方向性

【A】札幌市民1万人もが使用するトイレなのに市の関心が無い。機会を通して訴えて行きたい。トイレに対する市民の認識を得る為にトイレ内や登山口、山荘などに説明などの看板の設置を検討したい。

北海学園大学（札幌岳冷水小屋）

トイレは貯留式、雪解け時に近くに埋めて処分している。今のところ違法でもないの、この方法が良いと考えている。山小屋としての雰囲気壊したくないので、これ以上の過度の施設整備は考えていない。

山岳会等の取り組み、意見

藻岩山愛好会

藻岩山は登山口と山頂にトイレがあるので、特に問題はない。

会として、携帯トイレを使用するようにすすめているが、抵抗のある人もいる。外に収納スペースをもったザックの開発をメーカーに働きかけては。

北海道山岳連盟自然保護委員

北海道山岳連盟には、現在283名の日本山岳協会自然保護指導委員がいて、各地でトイレに限らず自然保護の取り組みをしている。2001年11月の自然保護委員会総会では、活動状況や意見として、「黒岳7合目にトイレが欲しい。」、「各登山口にトイレがあれば理想的。」、「入山料を考える時期がきているのでは。」、「道岳連として市町村・支庁・道・環境庁等に呼び掛けができないだろうか。」などの報告があった。

北海道勤労者山岳連盟自然保護委員会

南沼の紙の回収は雨のため中止となった。来年是非やりたいと考えている。また例年実施している春の清掃登山に、トイレ紙の回収なども取り組もうと検討中。考える会の活動には全面的に協力したい。

環境省には、予算があるのでは。南沼を予約制、有料化してはどうか。

既設のトイレに、きれいに使いましょうというメッセージが入ったシールを貼ってはどうか。

赤岩青巖峡のトイレ設置からの教訓として、クライマーたちによる年2回の清掃という地道な活動を通して地元との協力関係を築いた結果が、トイレの設置に結びついたと考えている。